

平成 26 年 2 月 27 日

「緑茶の需給情報」の発信について

公益社団法人日本茶業中央会では、これまでも茶の生産、消費等の動向を取りまとめた「茶関係資料」を毎年発行し、茶業関係者・消費者の皆様にご活用いただいております。

近年、緑茶の消費の低迷等による荒茶価格の低下等茶業界を取り巻く状況は厳しさを増しており、生産サイドに対しても緑茶の需給状況をより迅速かつ機動的に発信していくことが重要となっております。

この様な状況のもと公益社団法人日本茶業中央会では、農林水産省のご指導をいただきながら全国茶生産団体連合会、全国茶商工業協同組合連合会とともに「茶の需給情報連絡会」を設け、緑茶の需給情報を発信していくことといたしました。

本需給情報が茶産地における改植等計画的な茶生産に活用いただければ幸いです。

茶の需給情報連絡会

平成 26 年 2 月 27 日

緑茶の需給情報

茶の需給情報連絡会

1 国内生産量

国内生産量は、ここ 10 年の動向で見ると、緑茶飲料需要の増加により 16 年産は 10 万 700 トンになるなど増加したが、17 年産以降は 10 万トンを割り込み減少傾向で推移しており、24 年産の主産県の生産量は 8 万 5,900 トンとなった。25 年産は、一番茶の生育が凍霜害や低温により抑制されたことから、主産県の生産量は 8 万 2,800 トンとなり、前年産に比べて 3,100 トン減少した。こうしたことから、全国の生産量は約 8 万 4,800 トンと推計される。

2 輸入量

輸入量は、緑茶飲料の需要増により、16 年が 1 万 6,995 トンと急増したが、その後、原料原産地表示の義務化や国産志向の高まり等から減少傾向で推移しており、25 年は 4,875 トンとなった。

3 国内消費量

一人当たりのリーフ茶の消費量は、長期にわたって減少傾向で推移しており、家計調査によれば 23 年では 318g/人となっている。緑茶飲料では、12 年の 8.0 ㊦/人から 17 年には 20.7 ㊦/人と急増したが、その後、炭酸飲料等他の飲料との競合により減少しており、23 年では 17.4 ㊦/人となっている。こうしたことから、(株) 日刊経済通信社の推計によると、国内消費量（在庫消費量を含む）は、17 年に 10 万 8,500 トンとなったが、その後、21 年には 10 万トン台を割り込み、25 年は 9 万 6,000 トンと推計されている。

4 輸出量

輸出量は、世界的な緑茶ブームを背景として急増しており、2 年の 283 トンから 22 年

には2千トンを超え、25年は、2,942トンとなった。なお、主な輸出先は、米国、台湾、シンガポール、カナダとなっている。

5 在庫量

在庫量については、産地段階、小売り段階等多岐にわたるため正式な調査データはないが、関係者等からのヒアリングによると、飲料向け需要を見込んでの供給が過剰になったこと等から20年前後が3万トン程度積み上がったが、その後は国内生産量の減少と輸出量の増大分を繰越在庫から充当したため減少傾向にあると見込まれる。なお、(株)日刊経済通信社の推計においても、17年～20年にかけて、在庫量が3万3,000トンに積み上がったが、その後、21年以降は減少傾向となっており、25年では過去10年で最低レベルの7,800トンと見込んでいる。

緑茶の需給動向

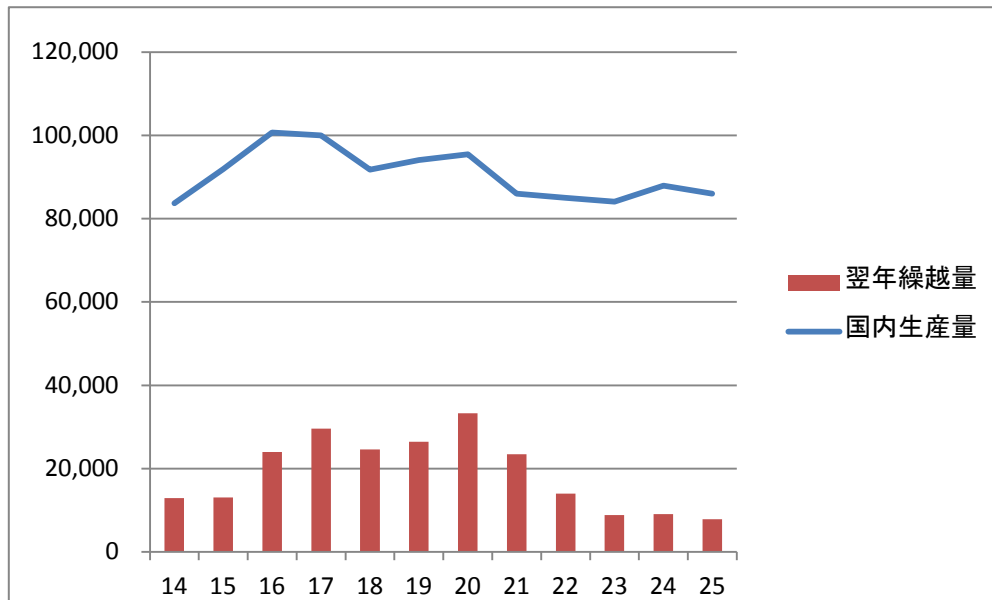
年	国内生産量 ① t	輸入量 ② t	輸出量 ③ t	国内供給量 ④=①+②-③ t	自給率 ①/④ %
昭和60年	95,500	2,215	1,762	95,953	100
平成2年	89,900	1,941	283	91,558	98
7年	84,800	6,467	461	90,806	93
12年	89,300	14,328	684	102,944	87
15年	91,900	10,242	760	101,382	91
16年	100,700	16,995	872	116,823	86
17年	100,000	15,187	1,096	114,091	88
18年	91,800	11,254	1,576	101,478	90
19年	94,100	9,591	1,625	102,066	92
20年	95,500	7,326	1,701	101,125	94
21年	86,000	5,865	1,958	89,907	96
22年	85,000	5,906	2,232	88,674	96
23年	82,100	5,393	2,387	85,106	96
24年	85,900	5,473	2,351	89,022	96
25年	84,800	4,875	2,942	86,733	98

資料:農林水産省「作物統計」、財務省「貿易統計」

注:23年、24年は主産県のみ調査。

(参考)

緑茶の生産量と在庫量の推移



資料：「酒類食品産業の生産・販売シェア」（株）日刊経済通信社

注1：25年度は予想値

注2：「翌年繰越量」とは、供給量－（国内消費量＋輸出量）により算出。